

野球におけるそれぞれのポジション観
—特に各ポジションの性格面,技術面に着目して—

林 泰史 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)
指導教員 新井 博

キーワード：野球，ポジション，性格面，技術面

1. 諸言

私は小学校から野球を続けてきたが、野球経験者がどこのポジションを守っていたのか大体当てることができる。性格や体格等から予測ができるが、そのポジション歴が長いからそういった性格になったのか、そういった人だからそのポジションを守っているのか気になった。

一般的に言われる各ポジションの印象やイメージ、性格の特性は、野球経験者において皆同じなのだろうか。また、どのような選手が各ポジションにいてほしいのか、野球経験者の各ポジションの持論は大きく違ってくるのかを研究する。

2. 研究方法

高校を卒業するまで野球をした大学生 40名を対象とし、各ポジションに関するアンケート調査を行い、その結果をもとに考察した。

3. 結果と考察

野球経験者の考える各ポジションの特性、価値観はほぼ同じであった。各ポジションの性格のイメージ、技術面の適性は共通していることが分かった。また、その性格のイメージ、技術面の適性は自分に当てはまると回答した人がほとんどであった。特に性格面では、そのポジション歴が長いからそのような性格になったと思うと答えた人が過半数を占めていた。そのポジションを長く守っているこ

とで各ポジションの性格の特徴がでてくるのかもしれない。特にピッチャーとキャッチャーはチームの柱であり、勝敗を左右し、一番プレッシャーの掛かるポジションであるため、ピッチャーは自己中心的、負けず嫌い等、一番性格の特徴が表れるポジションであると考えられる。

4. まとめ

今回の研究で各ポジションの性格、技術面の適性は野球経験者において同じであった。その他の各ポジションへの特性、価値観等の考えは同じであることがわかった。特に性格面において、ピッチャーはチームの柱であり、勝敗を左右し、一番プレッシャーの掛かるポジションであるため性格のイメージとして負けず嫌い、わがまま、自己中心的等の性格が多く、そのような性格でないと務まらないのかもしれない。

今後、他の競技においてもポジション観や性格面等が関係しているのか、研究してみたい。

5. 参考文献

井口資仁 (2010) 二塁手論：現代野球で最も難しいポジション。幻冬舎新書；東京。